

杉戸中だより

学校教育目標『自主自立』

- ◎自ら求め真剣に学ぶ生徒
- ◎自他の人格を尊重する生徒
- ◎健康・体力の増進に努める生徒

更なる成長を目指して

校長 小山 裕之

「おはようございます。」「おはよう。久しぶり！」校門近くで交わすいつもの挨拶から、杉中の2学期が始まりました。日焼けして引き締まった生徒の顔は、少し大人びたように見えます。今年の夏も、記録的な猛暑が続きましたが、保護者・地域の皆様におかれましては、いかがお過ごしだったでしょうか。

保護者の皆様には、夏季休業中に三者面談に御協力いただきました。先生やお家の人と一緒に1学期の生活や学習を振り返り、新たに目標を立てて夏休みを過ごした生徒が、多かったのではないのでしょうか。お忙しい中、御理解と御協力をいただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

休み中も杉中生は、進んで学習会に参加する人や英語のスピーチに挑戦する人、大会での勝利や記録更新を目指して部活動に励む人、コンクールや発表会で劇や演奏を披露する人等、多くの活躍の姿を目にしました。それぞれの人がそれぞれの取組を通して、一段とたくましくなった姿で2学期をスタートしたことを、とてもうれしく感じています。

演劇部は、7月23日(火)に開催された埼玉県中学校演劇発表会に出場しました。演目は「ワンダーエース」。祖父の遺品から出てきた未完の紙芝居の世界と現実の世界を、見事に演じきりました。8月4日(日)には、吹奏楽部が東部地区の吹奏楽コンクールに出演しました。日頃の練習の成果



が感じられる美しい音色の演奏でした。学校では、オリンピックメダリストの田中兄弟をはじめ、指導者の先生をお招きして、体操の御指導や模範演技をしていただきました。当日の運営にあたり、町関係者の方々や体操部保護者の皆様大変お世話になりました。ありがとうございました。そして、9日(金)は、女子テニス部の選手が千葉県で開催された関東大会団体戦に出場しました。栃木県の代表チームと熱戦を繰り広げて見事、勝利する等、健闘が光りました。10日(土)は、神奈川県で開催された柔道関東大会個人戦に、須藤君が出場しました。積み重ねた練習の成果を発揮し、見事、初戦を突破。埼玉県の代表選手として立派な闘いぶりでした。14日(水)には、弦楽部が「令和6年度 こども音楽コンクール」に出演しました。演奏曲は、お茶のCM等で有名な「Oriental Wind」です。雄大なメロディや曲想の変化を表現豊かに演奏してくれました。



施設面では、町教育委員会の御理解により、駐輪場周辺の高木の伐採や放送室の放送機器のリニューアル等をしていただきました。駐輪場周辺が明るく風通しがよくなり、放送室は見違えるようにきれいになりました。新しい放送機器につきましては、放送委員さんをはじめ、各委員会の活動等でも、子供たちに是非、有効活用して欲しいと思います。



2学期は、社会体験学習(2年)や部活動の新人戦、駅伝大会、合唱祭等、多くの行事を予定しています。生徒も教師も切磋琢磨し、今学期も「チーム杉戸中」として、学校・家庭・地域が一体となって、子供たちを伸ばしていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。